2023 令和５年 3

4

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

www.wacnet.jp

運営主体 ＮＰＯ法人福祉住環境地域センター／ＮＰＯ法人たすけあい三河

地域の茶の間「みんなの居笑」一日利用料 300 円／回
ボランティア会員募集中！！ 一汁一菜ランチ 300 円

地域の居場所 みんなの居笑（いえ）

営業時間
土日除毎日 10:00～16:00
豊橋市向山大池町３番地１
（南瓦町信号すぐ通り沿い）

担当：今泉

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
暮らし・仕事・地域生活なんでもワンストップ相談 **たすけあい居住支援センター** 低所得者・高齢者・障がい者・外国人・子育て 世帯等の住宅の確保に配慮が必要な方のための支援センターです。 指定居住支援法人ＮＰＯ法人たすけあい三河 豊橋市南瓦町 14-1 月～土曜日 9:30～19:00 （予約制）TEL 0532-52-4315 担当：鈴木 			1 大安 ●エンディングノートの作成教室（書き方）㊐ ●自分史塾㊐ 9:30～12:00	2 赤口 ●アイフォン教室㊐ 13:30～14:30	3 先勝 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	4 友引 ●みんなの居笑 絵画クラブ㋐ 14:00～15:30
5 先負	6 仏滅 ●前向き終活セミナー㊐ 10:00～12:00 ●輝け未来セミナー㊐ 14:00～15:30	7 大安	8 赤口 ●自分史塾㊐ 9:30～12:00	9 先勝 ●映画ファンの会㋐ 14:00～	10 友引 もったいない回収日 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	11 先負 ●こども志向塾㊋ ●みんなの居笑 絵画クラブ㋐ 歌カフェ㋐
12 仏滅	13 大安	14 赤口 ●居住支援住宅相談会㊐ 13:00～17:00（予約要）	15 先勝 ●エンディングノートの作成教室（成年後見）㊐ ●WAC 見学ツアー㊐ 10:00～15:30	16 友引 ●アイフォン教室㊐ 13:30～14:30	17 先負 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	18 仏滅 ●みんなの居笑 絵画クラブ㋐ 14:00～15:30
19 大安 ㋐WAC アグリカフェ ㋐みんなの居笑 ㊐カフェ多目的室 ⊕WAC プラス 福祉の窓口	20 赤口 もったいない回収日	21 先勝 春分の日 ●もっと身近に「成年後見塾」㊐ 10:00～12:00	22 友引 ●自分史塾㊐ 9:30～12:00	23 先負 ●映画ファンの会㋐ 14:00～	24 仏滅 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	25 大安 ●みんなの居笑 絵画クラブ㋐ 歌カフェ㋐ 13:30～15:30 500 円
26 赤口 イベントへのお申込みは ①イベント名②お名前 ③ご住所④連絡先 お伝えの上 林まで	27 先勝	28 友引 ●居住支援住宅相談会㊐ 13:00～17:00（予約要）	29 先負 ●自分史塾㊐ 9:30～12:00	30 仏滅 もったいない回収日	31 大安 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	

コラム

VOL. 57

「名もなく、貧しく、美しく」

雲が形を変えながら遠ざかっていく。ぼんやりと春の陽射しを浴びながら、遠い母のことを思い出す。急に目頭が熱くなり止まらない。涙がいっぱいどこからか、止めどもなく溢れ出る。悲しいのでもなく、嬉しいのでもなく、ひとすじ、ふたすじと頬に伝わる･･。母は、燃料店を営む祖父母の第 4 子長女として豊橋市下地に大正 8 年 11 月に生まれた。今年で鬼籍に入って 13 回忌を迎える。東日本大震災が発生した 2011 年 3 月 11 日その月の 25 日に彼女は旅立っていった。91 才まで生きた母は気丈で、弱音を吐かない女性であった。

太平洋戦争の終末、昭和 20 年（1945 年）1 月 13 日午前 3 時 38 分。この地方を襲ったマグネチュード 6.8 の内陸直下型地震「三河地震」が発生した。管制下の中、報道は控えられていたが、ある意味大災害であった。母はその真っ只中にいた。まだ、私も生まれていない時代である。嫁いだ先の夫は、海軍に 2 等兵として出征していて留守。深溝断層の上にあった住まいは潰され、家業を支える祖父（当時 48 才）は、柱の下敷きで即死。祖母はかろうじて瓦礫の中から救出され助かる。地震前日の朝、三ヶ根山の空は赤く燃えていたという。（発光現象）周りの道筋は、すべての家が崩壊して、原形を止めず跡形もなく、名鉄形原駅への道は隆起して坂道となり、手前の形原小学校校庭には、おびただしい死体が並んだ。その後の余震も激しく数ヶ月は、潰れて無くなった隣地敷地にテントを張り暮らしたという。

※当時の宝飯郡形原町被害状況：死者 867 人、負傷者 381 人、全壊 319 戸、半壊 729 戸（現在の蒲郡市形原町）

当時 26 才の母は家業（映画館&劇場）を、父が帰還するまでの 3 年間を男勝りの行動力で、東へ西へと奔走して必死に支え続ける。復員した父は 3 人の子を設ける。祖父の築いた家業は守られ、継続した父は、放蕩を続け 2 号さんを囲い、今でいうシングルマザーに母を追い込む。当時女性が経済的に自立して生き抜くことは大変な時代であった。

たばこ兼駄菓子屋の商いで、3 人の子を育て上げた母を、私は尊敬したい。周りの噂話を気にもせず、人を傷つける言葉は一言も言わず、ひたすら、真面目にしたむきに一生懸命努力する人であった。「必ずお天道さまが見ていて、守ってくださる。」は口癖で、お店で朝早くから夜 9 時 10 時まで働いた。田舎の商店街で、左右が八百屋。薬屋、帽子屋、うどん屋、文房具店、時計屋などいっぱいあった。前はパチンコ店（後の東海銀行）でその奥に銭湯があり、夜遅くまで人の行き来があり、ざわめいていて、ウキウキ感が子どもこころにはあった。お店の奥に 4 畳半の小部屋があり、そこから眺める身長 150 センチ足らずの母の背中は、いつも大きく輝いて見えた。

春と秋はみたらし団子を蒸し器で蒸すところから臼をつき、団子の大きさにカットして串に刺していく。その後お店で焼いてタレをつけて販売をする。夏はかき氷を提供し、冬はお好み焼きを材料の調達から、材料の仕込み、タレ作りまで一人でこなしていた。すべて手づくりであった。空いた時間は、たばこの 1 カートン売りで外商にでかけていた。高度成長前の昭和の時代、貧しさも見え隠れする中、私たちこども 3 人は、貧しさを感じず育つことができた。

一人で耐えて耐えて生き抜いた母は 50 代に入り、一挙に病魔が襲う。膠原病/シェーグレン症候群である。この病は、免疫の働きの一部が過剰に活発化して自分自身の正常な組織を攻撃する。以前から関節リウマチの傾向はあったが、私が見ている前で人差し指がみるみる変形していく姿は、驚きに堪えない。その後、唾液がでない。涙が出ないと症状に苦しむ。さらに病魔が襲う。52 才乳がんである。医師からリンパまで転移していると言われ、右胸を全摘される。女性のシンボルが無くなり、心配したが、一言もそのことには触れず、今まで通りの生活を続ける母はなんとすごいことだろうか。

私もサラリーマン生活で、県外転勤を除いて、母が住む自宅から通える範囲で行動していたが、35 才豊橋で独立起業し、42 才結婚をして自宅を離れ、住まいの拠点を豊橋に移した。一人暮らしをする母には、週 1 回程度用事を作っては会いに出かけていた。そして 48 才。アクシデントに襲われる。母は 78 歳であった。妹の嫁ぎ先、佐賀県唐津市で看護師を続けるかの地に母を委ねることにする。それから 13 年間。母にとっては異郷の地唐津での生活が始まった。88 才での脳梗塞及び後遺症、最後の 3 年間の寝たきり生活を除き、身辺周りは自立して、おだやかに生活を送ったという。私も、毎月の唐津行きが習慣となり、福岡での仕事も増えていった。唐津のおくんちで楽しかったこと。一緒に温泉や食事にでかけての、他愛のない会話が今は懐かしい。

いくつかの偶然を感じる。三河地震と東日本大震災そして母の死。祖父の死 48 才と私が今の仕事についた 48 才。祖父のやり残した仕事は、地域の人たちを元気にしあわせにしていくことだった･･･。私の第 2 期が今だとしたら、91 才で母がやり残したことを、第 3 期人生の最終章で出会えるのかも知れない。

母の強い意志は 3 人子たちに引き継がれている。周りの噂話を気にもせず、頑固に、自らの道を進む。ひたすら、真面目にしたむきに一生懸命努力する。当時松山善三監督のろうあ夫婦を描いた小林桂樹・高峰秀子主演の映画「名もなく、貧しく、美しく」母はこのタイトルのような人であった。清く正しく生き抜いた母の一生は、私のこころの中で、永遠に生き続けている。

加藤政実

MENU 価格（税別）

・ワンプレートランチ（ご飯・スープ付）	1300 円
・カレーセット（サラダ付）	800 円
・あんかけ湯豆腐セット（ご飯付）	800 円
・スープセット（サラダ・ご飯付）	800 円
・サンドイッチセット（サラダ付）	800 円

※上記のメニューにドリンクは 200 円です

安全な食材・安心な加工品！料理は自然食品にこだわります！有機栽培米から加工品、調味料まで徹底的にこだわります。WAC 農園産有機栽培の 20 種類以上の旬の野菜を使用した自然食ランチをお楽しみください。

健康の泉 **水素水 無料提供** ※ボトル1000円／本 初回のみ必要となります！

WAC agricafe

WAC ｱｸﾞﾘｶﾌｪ 〒440-0823 豊橋市南瓦町 14-1（瓦町交差点すぐ）WAC ﾋﾞﾙ 1F TEL（0532）52-4315 FAX（0532）56-0702